

	課題・実習の提出先: manaba 「レポート」	実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意
<p>#02 関数 実習・課題内容 2022 年度 / プログラミング及び実習 III</p> <p>角川裕次 龍谷大学 先端理工学部</p> <p>1 / 10</p>	<p>manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル名は指定の通りにすること ■ ファイル形式は指定の通りにすること ■ 守られていない場合は採点しない場合がある (採点作業の軽減への協力を宜しく) <p>2 / 10</p>	<p>C 言語ソースコード (プログラムコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの) ■ (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど) <p>実行結果スクリーンショット画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など) ■ スクリーンショット取得ツールを使用のこと. ■ (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像) <p>考察文章: プログラム及び実行結果に対する説明と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: テキストファイル (.txt) ■ 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと. ■ 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明 ■ (不可: Word や PDF など) ■ (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない) <p>3 / 10</p>
	実習 A	実習 B
<p>実習</p> <p>4 / 10</p>	<p>p.152, List 6-7 (左下直角二等辺三角形の表示) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j02a.c (C 言語ソースコード) ■ j02a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j02a.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>5 / 10</p>	<p>p.175, List 6-18 (自動記憶域期間と静的記憶域期間) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j02b.c (C 言語ソースコード) ■ j02b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j02b.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>6 / 10</p>

	課題	課題 (説明のつづき)
課題	<div>p.169, 演習 6-10 要素数が n である int の配列 v2 の並びを反転したものを配列 v1 に格納する関数を作成せよ。</div> <div><ul style="list-style-type: none">main 関数も作成して動作確認データは各自の学生番号の数字部分 6 桁とする</div> <div><pre>kakugawa@tcm700:~/pg3\$ cc p-06-10.c kakugawa@tcm700:~/pg3\$./a.out 1 9 0 1 2 3 3 2 1 0 9 1 kakugawa@tcm700:~/pg3\$</pre></div>	<div>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</div> <div><ul style="list-style-type: none">k02a.c (C 言語ソースコード)k02a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)k02a.txt (説明と考察 300 文字以上),</div> <div>プログラム全体像 (学生番号の数字部分が 190123 の人の場合の例)</div> <div><pre>#include <stdio.h> void intary_rcpy(int v1[], const int v2[], int n) { ここを作成してください } int main(void) { int a[6], c[6] = { 1, 9, 0, 1, 2, 3 }; intary_rcpy(a, c, 6); printf("%d %d %d %d %d %d\n", c[0], c[1], c[2], c[3], c[4], c[5]); printf("%d %d %d %d %d %d\n", a[0], a[1], a[2], a[3], a[4], a[5]); return 0; }</pre></div>
おわり		